

# 昨年の豪雨災害に対する 検証と地域防災計画の 見直しを行いました

## 一 気象関係情報の収集・伝達

情報伝達方法の不備などを反省し、防災行政無線拡声子局の増設や消防団との連携により情報伝達を強化します。

## 二 初動体制の充実

町水防班体制の抜本的見直しを行い、指揮命令系統を明確化し、職員意識の向上を図ります。

## 三 住民避難・避難支援体制の整備

明確な避難勧告などの発令基準を策定し、防災行政無線などで確実に伝える必要があります。また、避難所の周知を徹底し、速やかで安全な避難所開設の設営・運営基準を整備します。

## 四 関係機関との連絡体制の強化

災害発生時は消防や警察などの関係機関との連携が不可欠です。今後も連絡体制や協力体制の強化を進めます。

## 五 被災者支援体制の強化

被災者支援の窓口を明確化し、情報共有を行います。住宅被災者には町営住宅や老人ホームなど複数の受け入れ体制を整えます。また、災害時要援護者支援の対策マニュアルを整備します。

## 六 地域防災力の向上

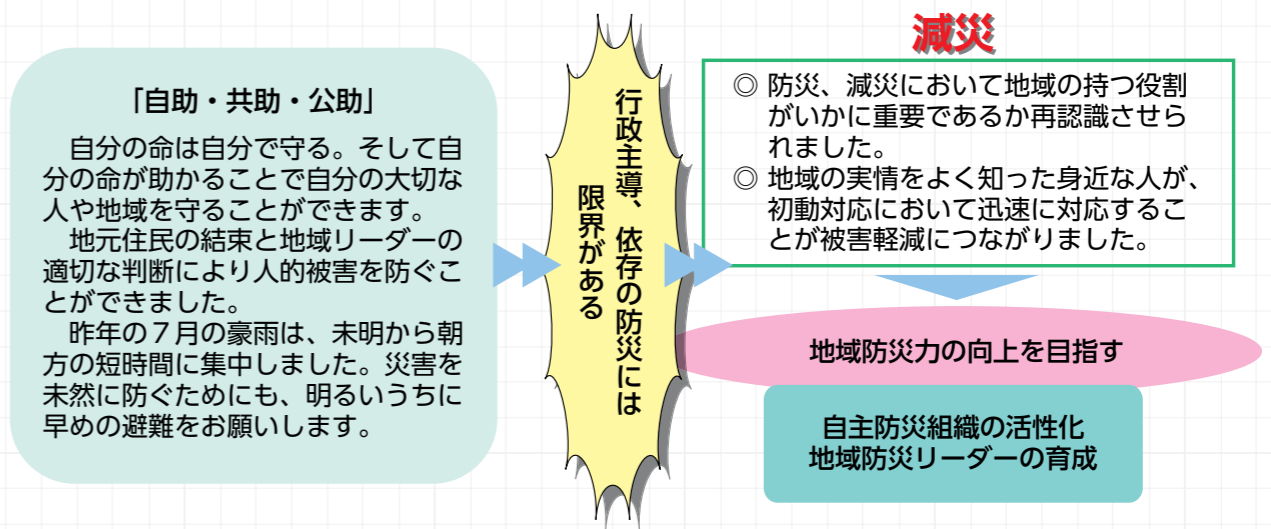
特に被害が大きかった岩坂阿原目地区と真木地区ですが、阿原目地区では住民の共同作

## 七 災害情報の共有

今年4月から5月にかけて、小学校校区別に災害危険箇所、地元の一時的避難所の見直しを行いました。ここで検討した内容を地元の皆さんの共通認識として、自主防災組織の設立や組織の活性化に発展することを願います。

業により早期復旧が実行され、真木地区では地元区長を中心に自主避難を促し、人的被害はありませんでした。共通するのは地域中心の防災活動であり、防災、減災には地域防災力の強化が極めて重要です。町は地域防災力の向上を目指し、自主防災組織の支援や地域防災リーダーの育成を行います。

## 防災・減災のまちづくりを目指して —地域防災力の向上—



# 災害を防ぎ 被害を最小限に

## 大津町地域防災会議

6月4日、梅雨を前に「町地域防災会議」と「水防会議」および「国民保護協議会」を町生涯学習センターで開催しました。今回の見直しの基本方針として、昨年7月に甚大な被害をもたらした九州北部豪雨災害を踏まえ、本町の災害に対する反省点、災害危険箇所や避難所の再点検の結果を反映し、大規模かつ広域的な災害への対応体制や自主防災組織の活性化などを中心に防災計画の見直しを行い、各行動マニュアルなどに反映させることになりました。



屋内施設を有する避難予定場所			
避難予定場所	収容対象予定地区	避難予定場所	収容対象予定地区
総合交流ターミナル (岩戸の里)	内牧、外牧、錦野 ※水害時は菊阿体育館	子育て・健診センター	駅通、室東
菊阿体育館	瀬田、大林	大津北中学校	上大津、楽善、日吉が丘、西嶽、水源町・西窪
大津町運動公園 (スポーツの森・大津)	鳥子川、吹田、森、上陣内、大津東、引水東	室小学校・大津地区 公民館分館	室北、北出口、室西、あけぼの
大津南小学校	岩坂、中陣内、中島、下陣内、町、下町	大津北小学校	下猿渡、御所原、馬場、宮本、多々良、仮宿、米山
大津中学校	鍛冶、中学通り、灰塚、新	野外活動等研修センター (旧真城小学校)	古城、真木
大津小学校	立石、後迫、上鶴、引水	矢護川コミュニティセンター (旧矢護川小学校)	護東、御願所、上中、下中、片俣
美咲野小学校	美咲野、高尾野、新小屋	護川小学校	上猿渡、小林、今村、杉下、杉上、上の原
生涯学習センター	上鶴南		
町民交流施設 (オークスプラザ)	松古閑・塘町、中央	人権啓発福祉センター	源場、つつじ台、桜丘
屋外の避難予定場所			
山村広場、高尾野公園、町民グラウンド、昭和園、大津中央公園			

※収容対象予定地区の表記は、避難予定場所を限定するものではありません。